

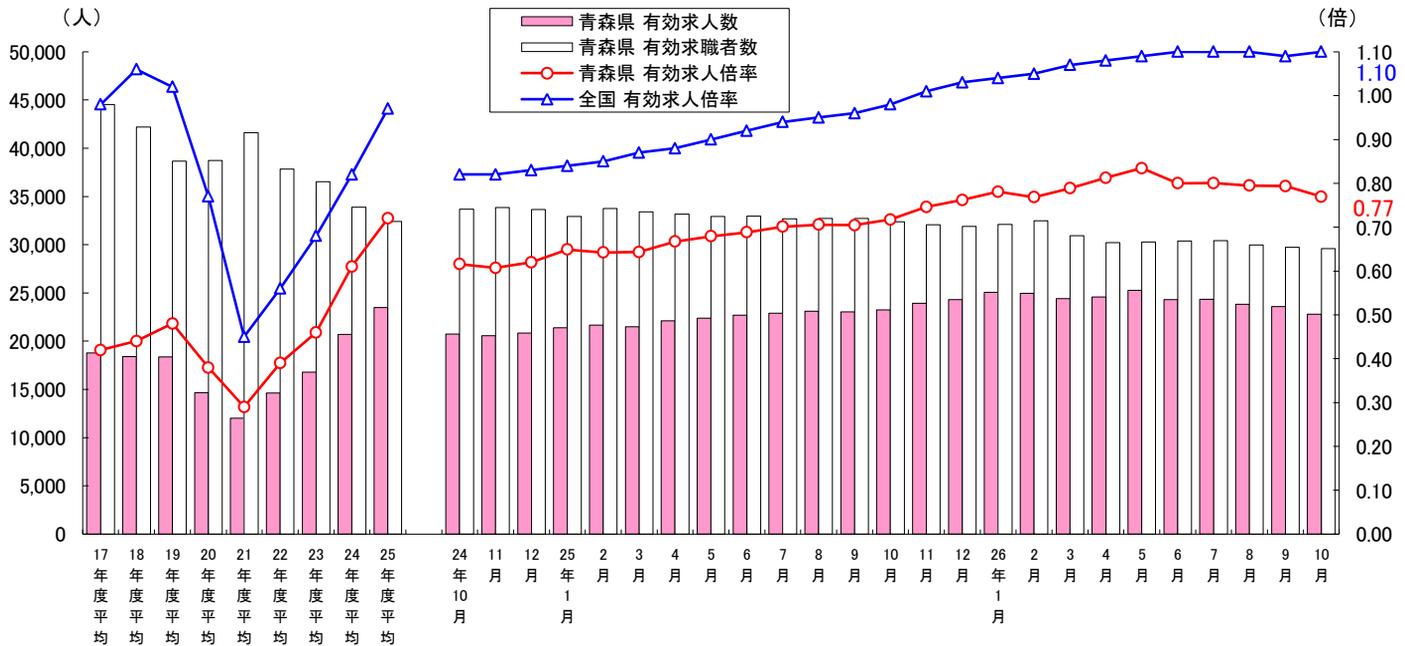
最近の雇用情勢について

(平成26年10月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

10月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ3.4%減少の22,785人、有効求職者数(同)は0.4%減少の29,600人で、有効求人倍率(同)は前月より0.02ポイント低下の0.77倍となった。

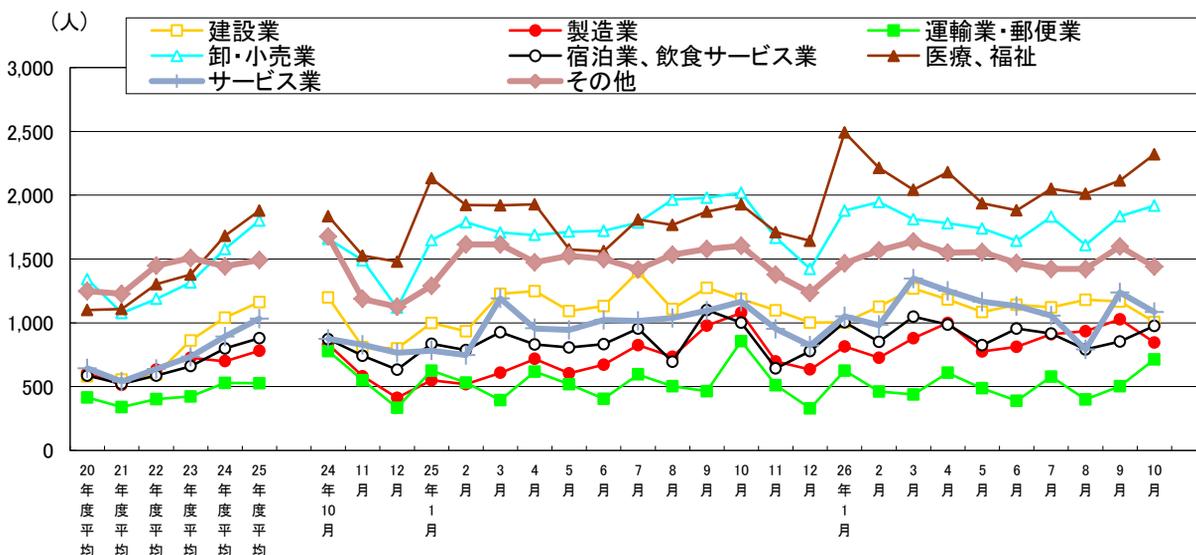


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

10月の新規求人(原数値)は前年同月比4.9%(530人)減少、前月比0.3%(30人)減少の10,306人。

産業別に前年同月と比較すると、農、林、漁業、情報通信業、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉等が増加し、建設業、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、不動産業、物品賃貸業、宿泊業、飲食サービス業、複合サービス事業、公務・その他等では減少となった。製造業では、パルプ・紙・紙加工品製造業、金属製品製造業等で増加し、食料品、飲料等製造業、繊維工業、窯業、土石製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業等では減少となった。



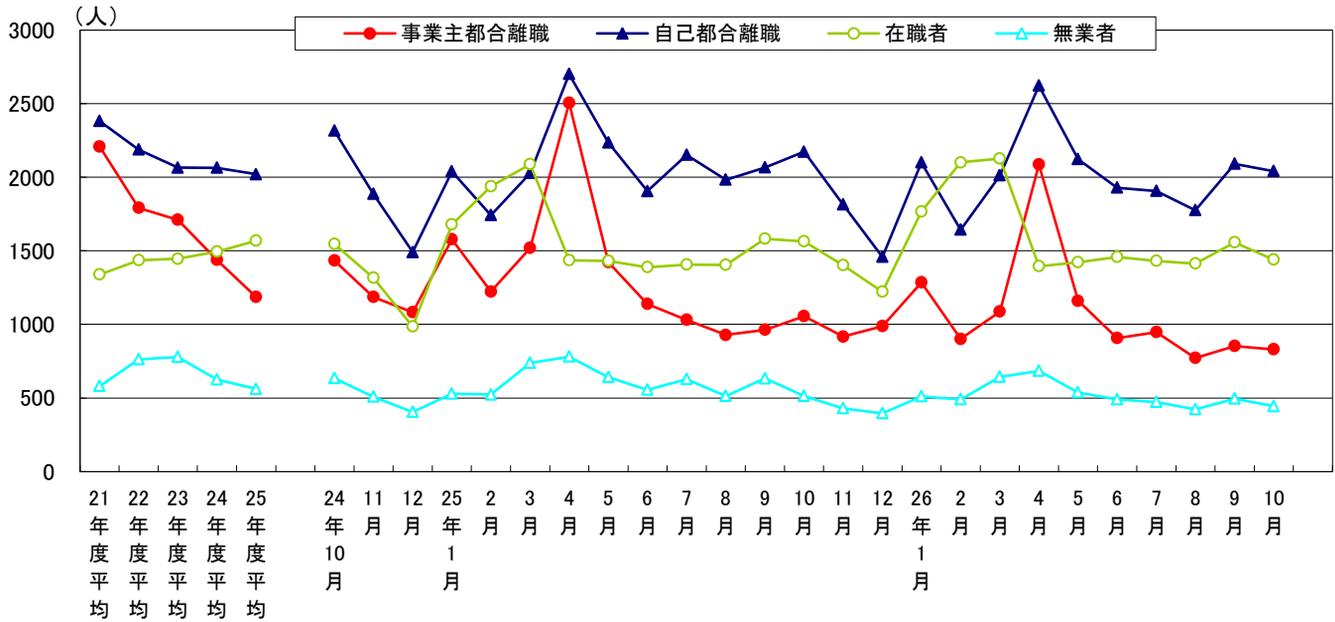
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

10月の新規求職者数は、前年同月比10.2% (555人)減少、前月比4.6% (234人) 減少の4,876人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は7.9% (124人)減少し、離職者は10.8% (362人) の減少、無業者も 13.5% (69人) の減少となった。

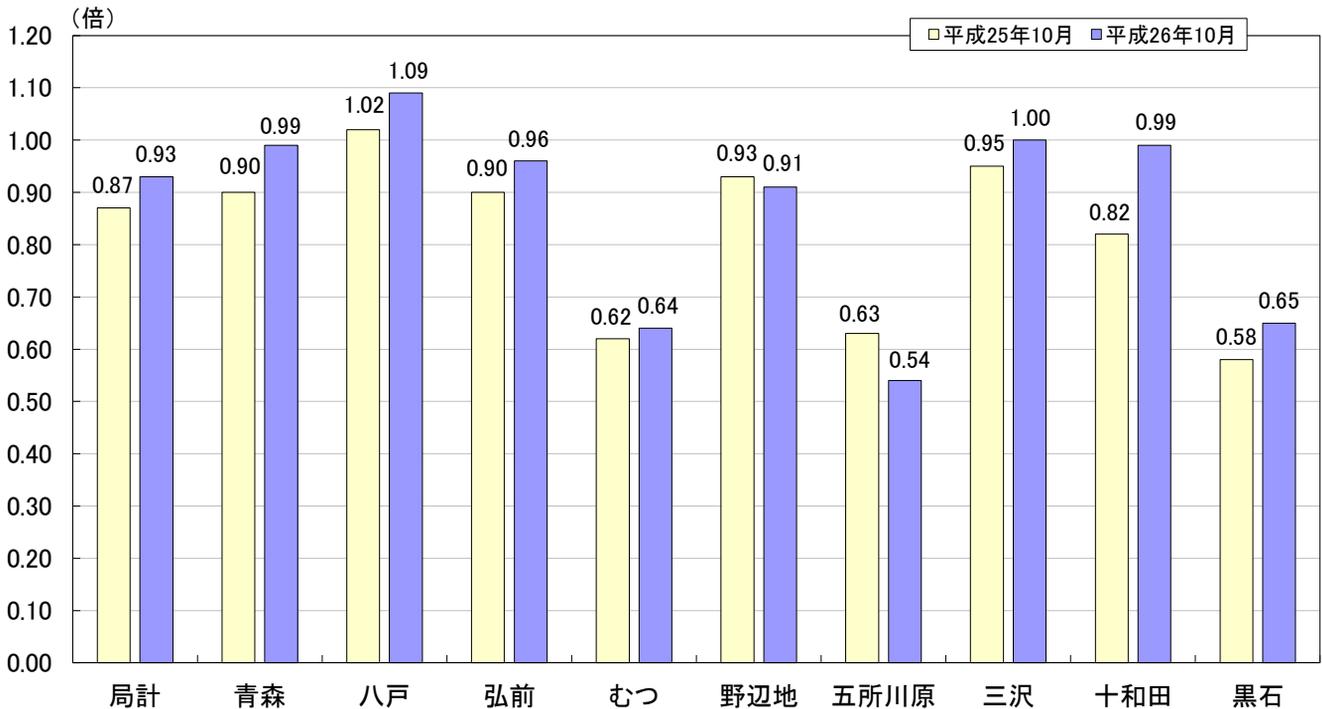
離職理由でみると、事業主都合は21.3% (225人) の減少、自己都合は6.0% (131人) の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

10月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.93倍となり、前年同月を0.06ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

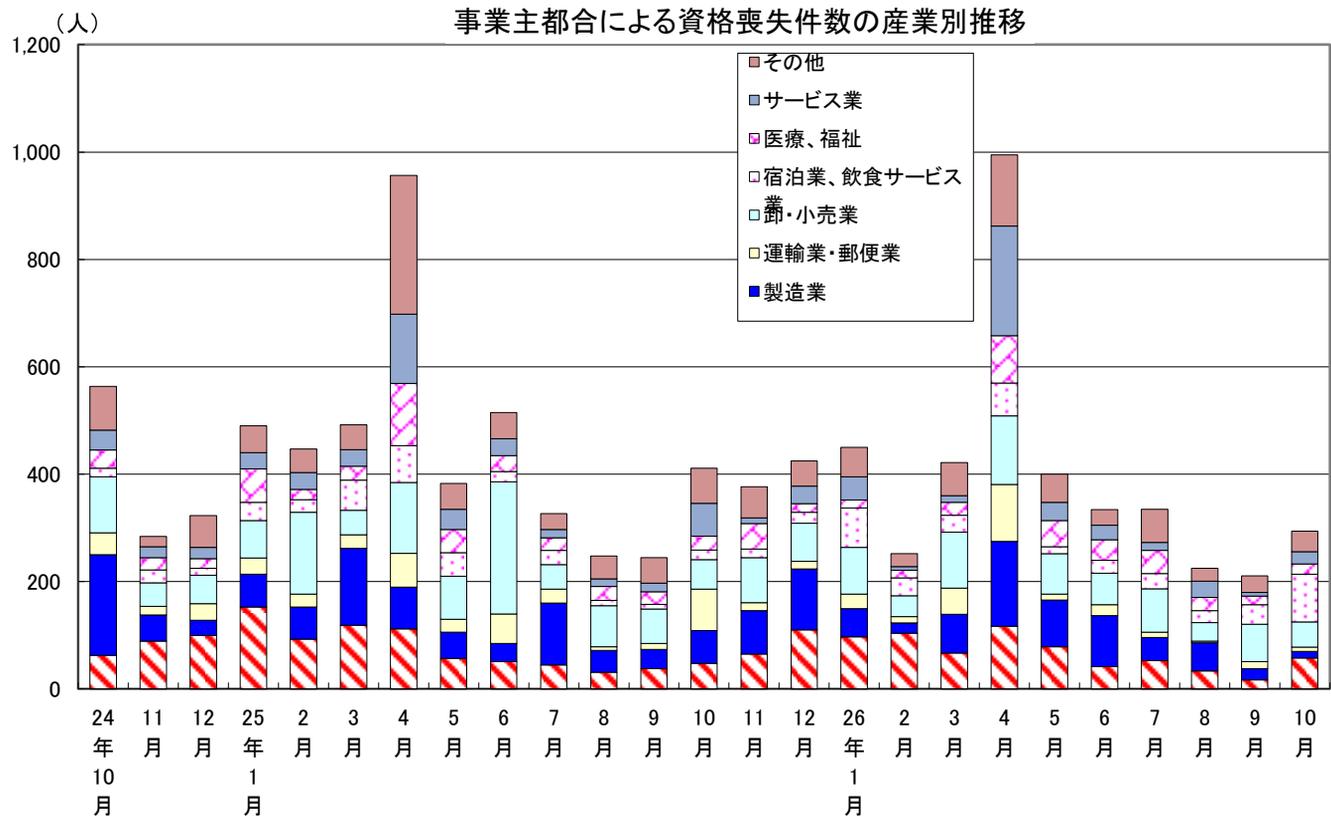
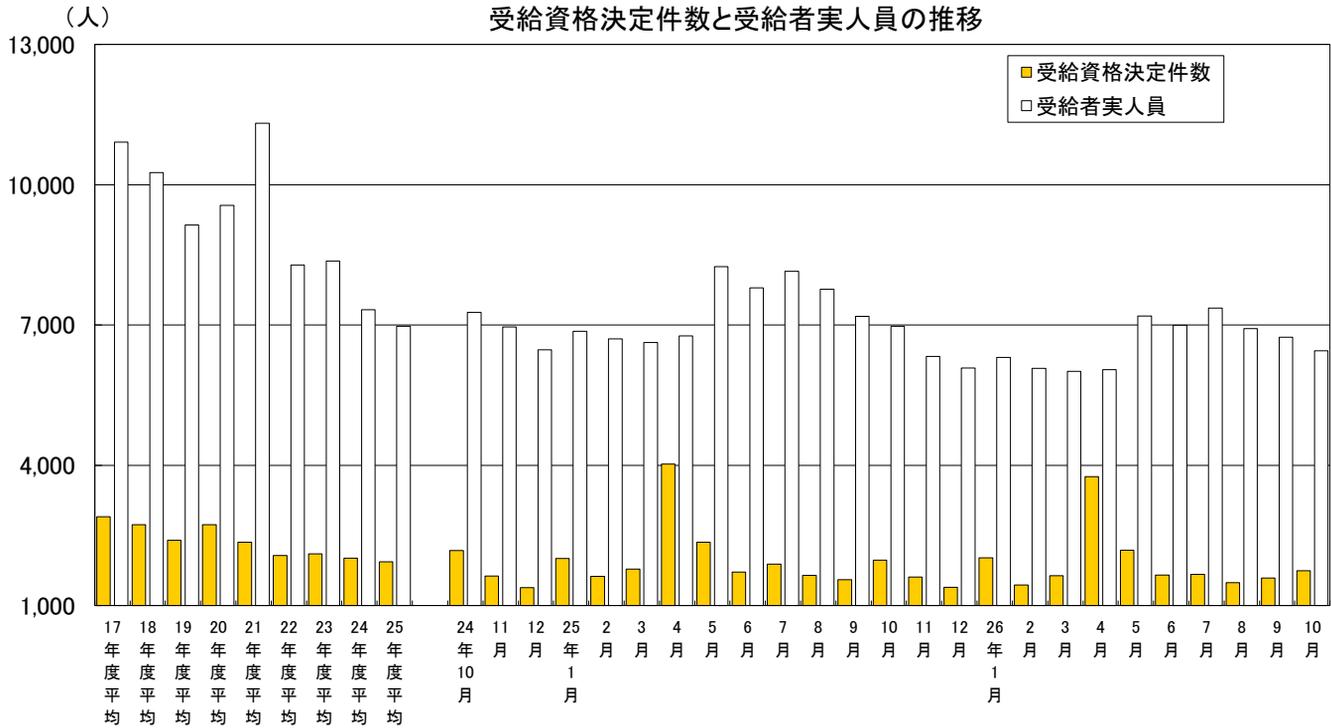


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	27,205	7,173	6,291	4,699	1,275	969	2,593	1,540	1,284	1,381
有効求人数	25,296	7,122	6,868	4,498	817	883	1,390	1,542	1,272	904

V 雇用保険の状況

10月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比7.5%（524人）減少、前月比では4.3%（288人）減少の6,449人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比11.4%（224件）減少、前月比では9.7%（154件）増加の1,745件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比28.5%（117人）減少、前月比39.3%（83人）増加の294人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。